

お知らせ



消しゴムで自分の印を作ってみよう
無料出張講座のお知らせ

一年の書写の教科書にも掲載しており
ます。「消しゴム印」の無料出張講座を行
います。

消しゴム印は身近な材料で、手軽に楽しく、自分だけの印を
作ることができます。年費状にも使えます。

講師は消しゴム印の本も出版されている上村旺司先生です。
講師料は無料、交通費だけでいいので
も行ってください。日時は相談に
応じてくださる予定です。

この機会にぜひ、チャレンジして
みてはいかがでしょうか。



連絡先は左記のとおりです。

アートスタンプ協会

会長 上村旺司

〒164 0002 東京都中野区上高田 1 30 4

TEL・FAX 03 3389 2930

編集部便り



新学習指導要領では、「古典」の取り
扱いについての改善の事項として、「古典
の指導については、古典に親しませるこ
とに重点を置く。その際、言葉のきまり
については、細部にわたることなく、教
材に即して必要な範囲で指導する」とい
めることと示されています。

親しまれることと重点を置く」の一例として、三年の第二単
元に位置付いている「項羽」があげられると思います。紀元前九
十一年に完成されたとされる『史記』は、歴史書としての価値
だけでなく、現代の人々を魅了する内容で、とりわけ項羽と劉
邦の話は現代作家によつて幾度となく小説化されています。

また、『史記』の中には、「四面楚歌」をはじめ、二千年を経
て今日まで伝えられている故事成語も多く、扱い方によつて
さまざまな学習展開が可能なのではないかと考えています。

言葉のきまり」については、右の新学習指導要領における
改善の内容により、今まで付録として掲載していました「文語
活用表」を平成十四年度版から外しました。古典は細部にわた
って読み込むことよりも、まるごと親しむことがより大切なこ
とだと思います。

【次号のお知らせ】次号は、教科書の最後の教材、十四年度
から始まりました「好きな作品を選び、自ら取り組もう」をど
う扱うかについて特集します。お楽しみに。